

ディプロマ・ポリシー(DP)学位授与方針

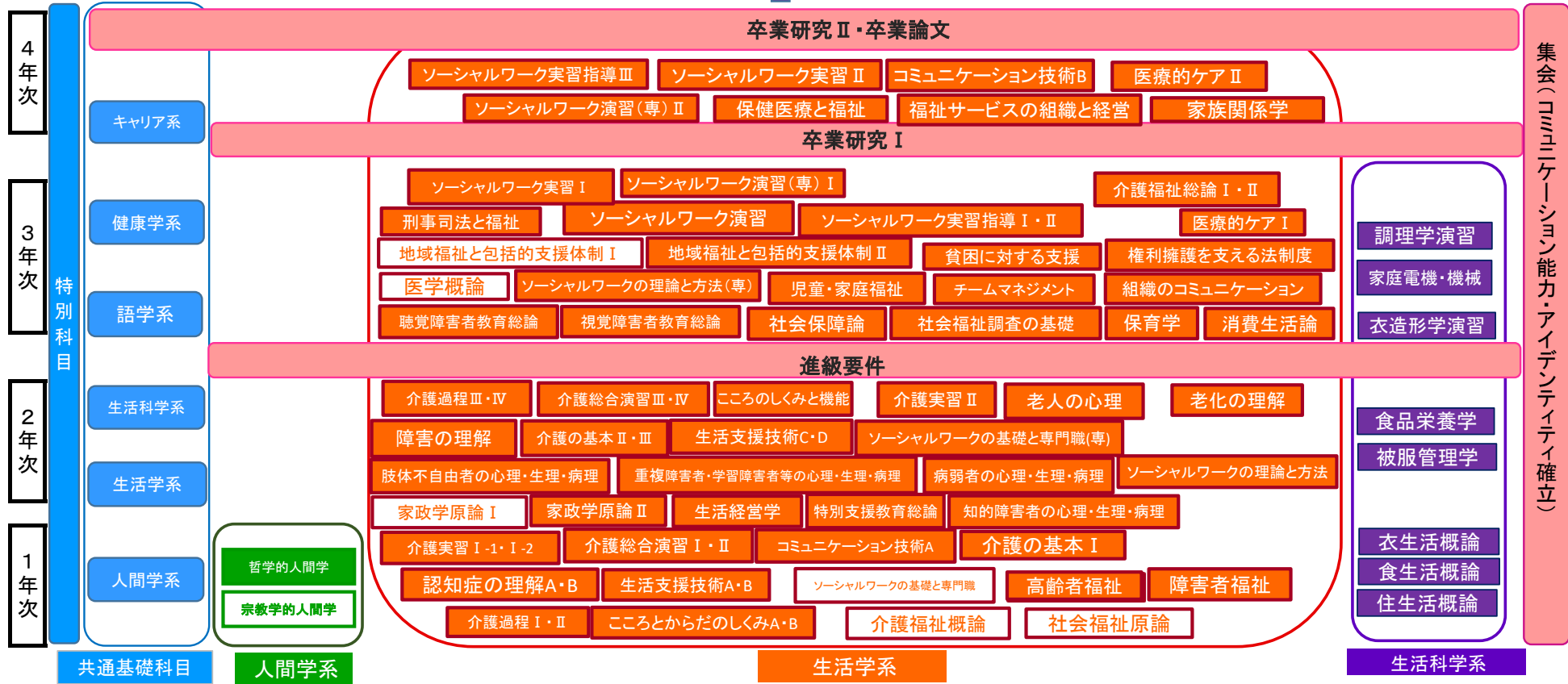
生活科学科では、別に定める卒業要件を満たした学生に学士(家政学)の学位を授与し、以下の知識、能力、態度が身につけていることを保証する。

- DP1 介護福祉や社会福祉および教育の3領域において、それぞれに必要な広範な専門的知識と技術を修得し、それらを活用できる。
- DP2 基礎知識と専門的知識により、高齢者や障害者(児)などを取り巻く社会環境を多面的かつ総合的に把握し、社会福祉および介護福祉をめぐる様々な問題に対処できる論理的思考力と問題解決へ導く能力を身につけている。
- DP3 他者を援助し、他者と協調できる人格形成を志向し、福祉を通して、社会的責任を果たそうとする態度と倫理観を身につけている。
- DP4 実習、地域交流活動、卒業研究などによる総合的経験と横断的思考力を活かして、地域の福祉や生活をめぐる課題を解決する能力を身につけている。
- DP5 達成度評価については、GPA1.8以上を基準とする。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

社会福祉士・介護福祉士・教員(家庭、特別支援)

DP1 知識・理解	DP2 論理的思考力・問題解決力	DP3 倫理観・社会的責任	DP4 総合的な学習経験・創造的思考力
-----------	------------------	---------------	---------------------



※白囲み科目は卒業必修科目

生活科学科 建築デザイン専攻 カリキュラム・マップ (教育課程学位授与方針の可視化)

【令和3年度入学者より】

ディプロマ・ポリシー(DP)学位授与方針

生活科学科では、別に定める卒業要件を満たした学生に学士(家政学)の学位を授与し、以下の知識、能力、態度が身につけていることを保証する。

DP1 建築分野において、一級建築士および二級建築士、その他の建築関係資格取得者として必要な広範な専門的知識と技術を修得し、それらを活用できる。

DP2 基礎知識と専門的知識により、住居や建築に関する問題を科学的根拠に基づいて論理的に思考し、解決できる。

DP3 自然を尊重し、自然と共生可能な住環境の創造を志向し、人間と社会と自然の永続的存続という社会的責任を果たすことができる。

DP4 建築物の視察、建築現場の視察・研修、卒業研究などによる総合的経験を活かし、地域の建築が抱える課題を広い知性と新たな発想で解決できる能力を身につけている。

DP5 達成度評価については、GPA1.8以上を基準とする。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

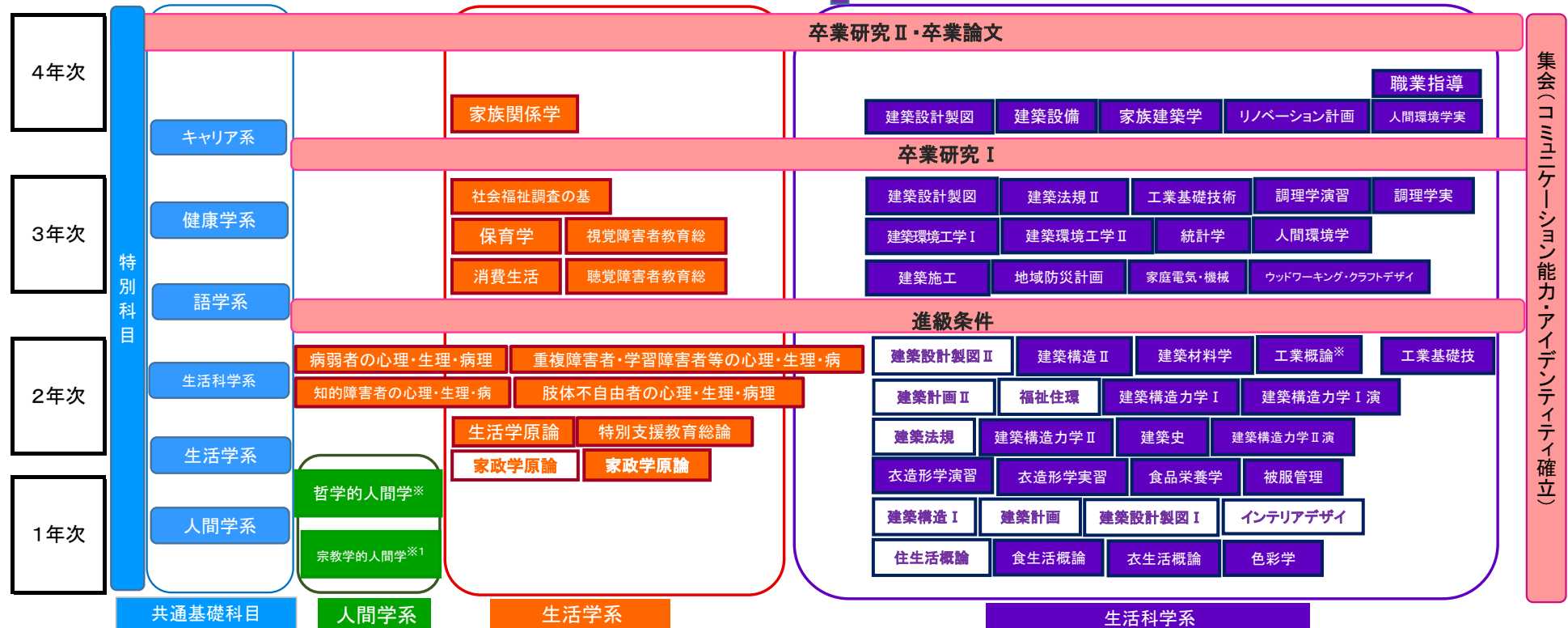
建築士・商業施設士・インテリア設計士・福祉住環境コーディネーター・教員(家庭・工業)

DP1 知識・理解

DP2 倫理的思考力・問題解決力

DP3 倫理観・社会的責任

DP4 総合的な学習経験・創造的思考力



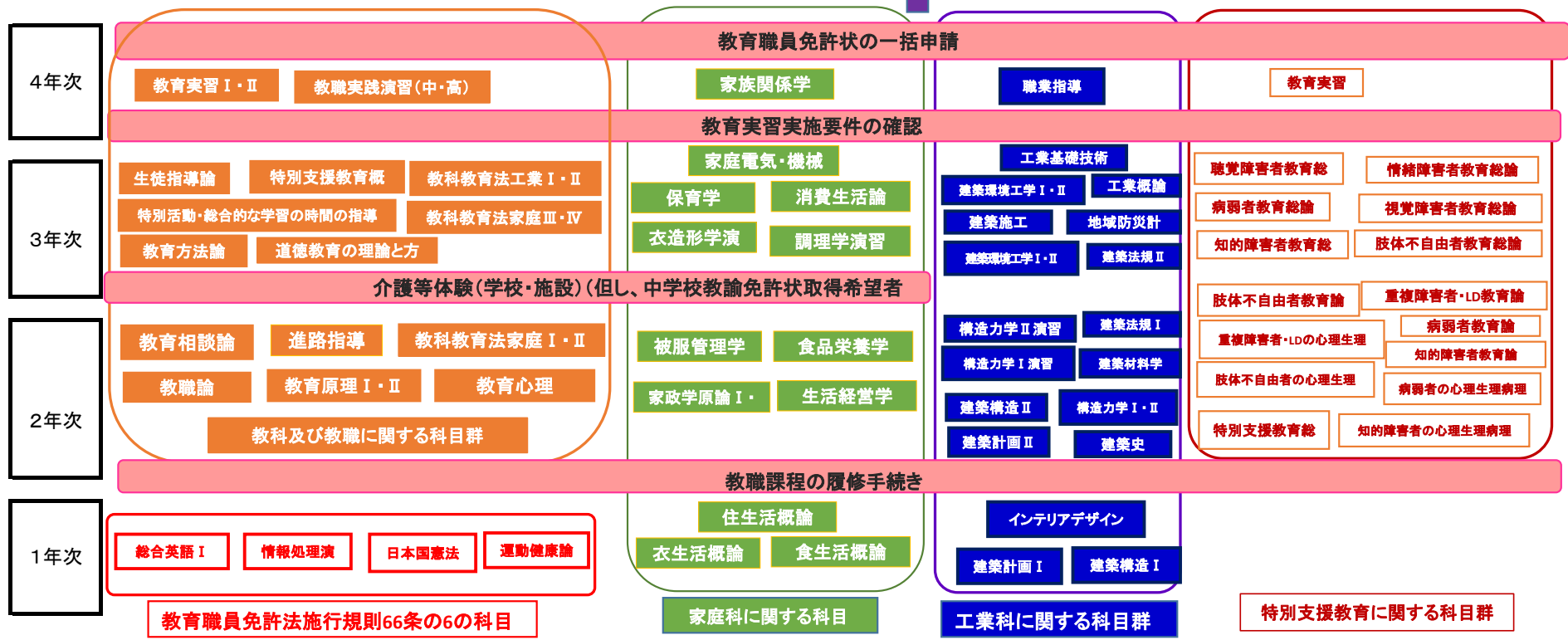
集会(コミュニケーション能力・アイデンティティ確立)

◆白囲み科目は卒業必修科目 ※1および※2はそれぞれ1科目必修

生活科学科は、人が人らしく生きることができる世界の創造を追求する「人間守護の理念」の実現を目指して、人間生活の向上と社会の発展に寄与する人材を養成することを教育目的としています。これを達成すべく、人間生活に関して総合的かつ専門的に学べる教育課程を編成しています。教職課程においても、この教育理念を基盤としながら、社会が求める高い資質を有した教員養成を目指したカリキュラムを編成しています。具体的には、教職に対する強い情熱を持ち、同時に、家庭科あるいは工業科、さらには特別支援教育の専門家としての確かな力量を備え、教養豊かな総合的な人間力を培う教育課程となっており、教職を介して日々の「人間守護」が実践できる教師の育成を目指しています。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

中学校教諭一種(家庭)、高等学校教諭一種(家庭)、高等学校教諭一種(工業)、特別支援学校教諭一種の各免許状の取得



食物栄養学科 カリキュラム・マップ (教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマ・ポリシー(DP)学位授与方針

本学科所定の単位を修得し、以下の知識、能力等を身につけた学生に対して卒業を認定し、学士(家政学)の学位を授与します。

学位授与の基準となる学修成績はGPA2.0以上(修得科目の平均点73.0以上)を原則とします。

DP1 管理栄養士を目指して、十分に研鑽を積んでいる。

DP2 栄養士として必要な知識・技能を有しており、自らの食生活に応用することができる。

DP3 食、栄養や健康に関わる知識と技術を社会で応用できる。

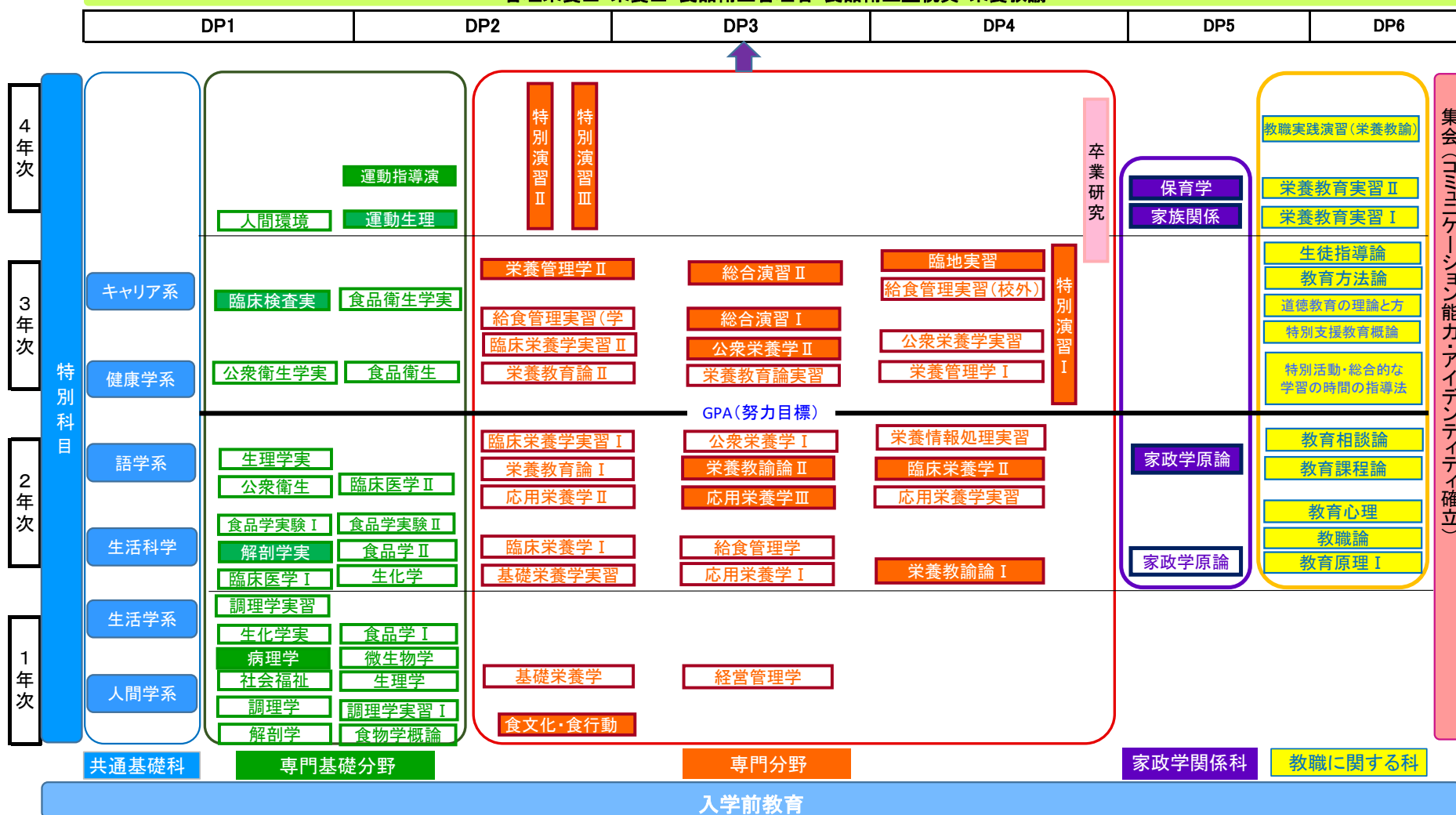
DP4 新しいIT技術の習得やコミュニケーション能力の向上に務める。

DP5 食と健康の専門的職業人としての責任感を養う。

DP6 食品衛生の専門家(食品衛生管理者・食品衛生監視員、いずれも任用資格)として、食品の製造加工の過程における衛生上の管理と指導ができる。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

管理栄養士・栄養士・食品衛生管理者・食品衛生監視員・栄養教諭



集会(コミュニケーション能力・アイデンティティ確立)

※白囲み科目は必修科目

ディプロマ・ポリシー(DP)学位授与方針

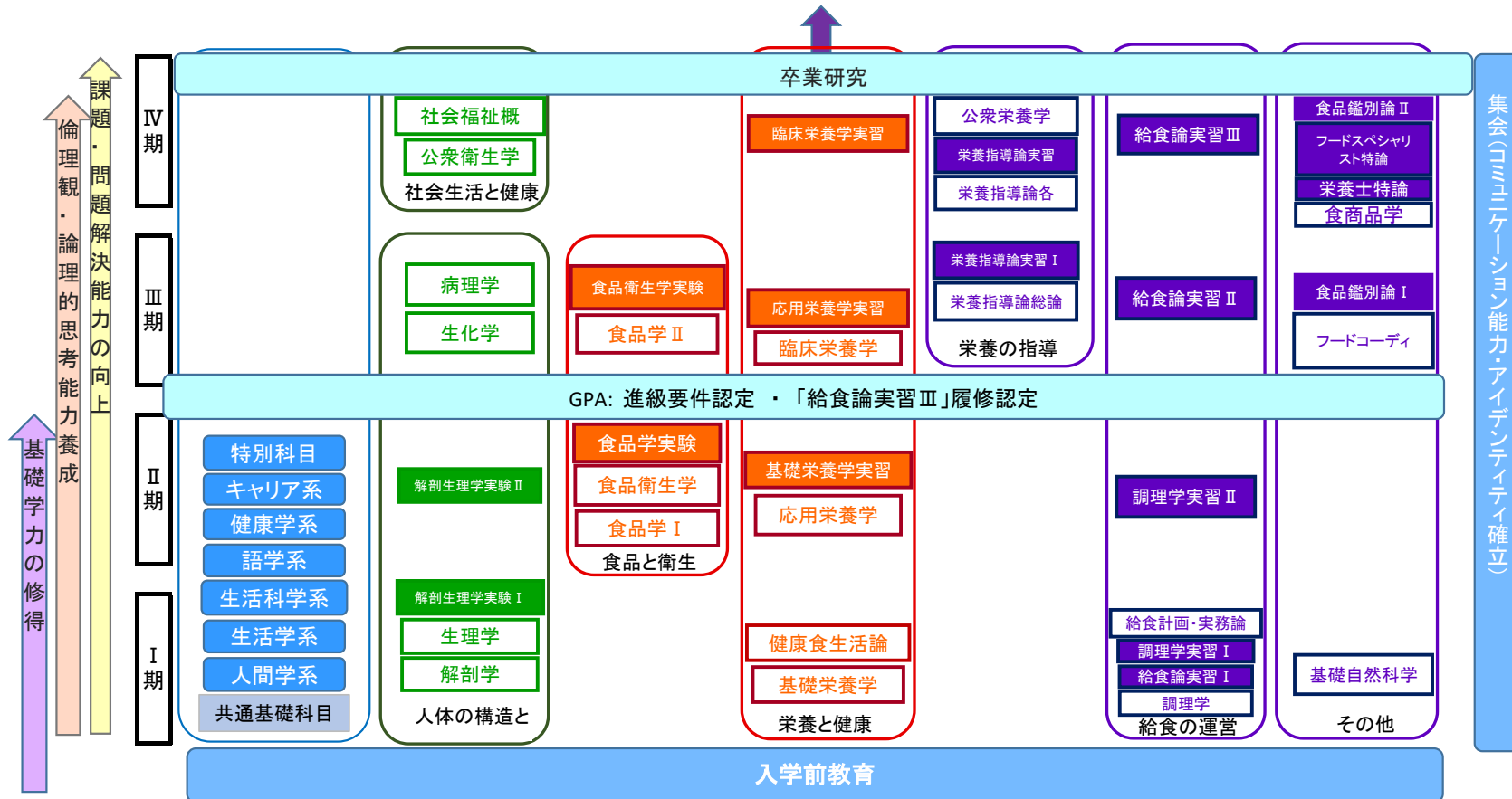
学科の目的に鑑み、本学所定の単位を修得し、次の成果が得られた学生に卒業を認定し、短期大学士(家政学)の学位を授与する。

- DP1 食と健康の関わりについて科学的に理解する能力を修得している。
- DP2 健康的な食生活を実践するための基本的技術が身についている。
- DP3 食と栄養の専門性を発揮して、サービスの精神に基づいて社会に貢献する素養が身についている。
- DP4 論理的思考と倫理観によって、食と栄養に関わる諸問題に対処する能力を修得している。
- DP5 卒業要件を満たし、GPA1.6以上を修めている。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

栄養士・フードスペシャリスト

食と健康の関わりについて科学的に理解する能力を修得している。	健康的な食生活を実践するための基本的技術が身についている。	食と栄養の専門性を発揮して、サービスの精神に基づいて社会に貢献する素養が身	論理的思考と倫理観によって、食と栄養に関わる諸問題に対処する能力を修得してい	卒業要件を満たし、GPA1.6以上を修めている。
--------------------------------	-------------------------------	---------------------------------------	--	--------------------------



必修科目 (Mandatory Courses) 選択科目 (Elective Courses)

幼児教育学科 カリキュラムマップ(教育課程・学位授与方針の可視化)

学位授与方針(ディプロマポリシー)

幼児教育学科所定の単位を修得し、以下の知識・能力を身につけ、GPA1.5以上の学生に対して卒業を認定し、短期大学士(教育学)の学位を授与します。

- 1) 教育・保育の本質を理解している。
- 2) 保育内容を理解し、保育を総合的に計画し実践できる。
- 3) 子どもの発達(心理的・身体的)を理解し、子どもを支援することができる。
- 4) 保育を実践するための方法や技術を身につけている。
- 5) 感性豊かな表現力とコミュニケーション能力を身につけている。
- 6) 学修した知識や技術を結合し、問題を解決する能力が育っている。
- 7) 幅広い教養と豊かな人間性や規範意識を身につけている。
- 8) チャイルド・ミュージックコースにおいては、更に一定水準以上の音楽表現が身につけている。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標) 幼稚園教諭二種免許状 及び 保育士資格 の取得								
DP1 本質の理解/DP2 計画・実践/DP3 子ども支援/DP4 方法・技術/DP5 コミュニケーション能力/DP6 問題解決能力/DP7 教養・人間性						DP8 音楽表現		
IV期	芸術鑑賞講座・教養講座Ⅱ	スポーツ実技	保育原理Ⅱ 子ども家庭支援論	子ども家庭支援の心理学	保育内容総論 教育方法論 保育相談支援 社会的養護Ⅱ	教職・保育実践演習	リトミック(通年) ハンドベル演習 ミュージカル演習	
					卒業研究(Ⅲ期・Ⅳ期)			
Ⅲ期	芸術鑑賞講座・教養講座Ⅱ		社会的養護Ⅰ	子どもの理解と支援 子どもの食と栄養	保育内容演習 人間関係 保育内容演習 ことばと遊びⅡ 保育内容演習 表現と創造Ⅱ 保育内容演習 生活と環境Ⅱ 保育表現技術 音楽Ⅱ	器楽Ⅱ 造形Ⅱ 体育Ⅱ 子どもの健康と安全	教育実習Ⅳ 保育実習指導ⅡまたはⅢ 保育実習Ⅰ-2 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ	ピアノⅡ ボーカルⅡ 器楽Ⅱ ダンスパフォーマンスⅡ ミュージカル表現Ⅱ
Ⅱ期	芸術鑑賞講座・教養講座Ⅰ	哲学・倫理学	教育原理 子ども家庭福祉 社会福祉	保育の心理学Ⅰ 子どもの保健	教育・保育課程論 特別支援教育基礎論 保育内容演習 健康 保育内容演習 ことばと遊びⅠ 保育内容演習 表現と創造Ⅰ 保育内容演習 生活と環境Ⅰ	保育表現技術 音楽Ⅰ 保育表現技術 器楽Ⅰ 保育表現技術 造形Ⅰ 保育表現技術 体育Ⅰ	教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 保育実習Ⅰ-1	ダンスパフォーマンスⅠ ミュージカル表現Ⅰ 音響・舞台照明技術研究
		文化史						
Ⅰ期	芸術鑑賞講座・教養講座Ⅰ	社会科学(経済)	保育原理 保育者論	教育心理学	児童文化 保育表現技術 音楽Ⅰ 保育表現技術 器楽Ⅰ 保育表現技術 造形Ⅰ 保育表現技術 体育Ⅰ	乳児保育Ⅰ	教育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ	ピアノⅠ ボーカルⅠ 器楽Ⅰ
		自然科学(物理)						
		共通基礎科目	保育の本質・目的の理解に関する科目	保育の対象の理解に関する科目	保育の内容・方法の理解に関する科目	教育実習 保育実習	チャイルド・ミュージックコース専門科目	

集会(コミュニケーション能力・アイデンティティの確立)

プレカレッジ教育

- ※枠の意味: 卒業必修科目 教職必修 保育士必修 教職・保育士必修 選択科目

地域創成学科 カリキュラム・マップ (教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマポリシー(DP) 学位授与方針

建学の精神に基づく教育目的に従い、以下に掲げる知識や資質を身につけ、所定の単位を修得したGPA1.4以上の学生に対し短期大学士(地域創成)の学位を授与する。

- DP1 身近な生活圏の歴史や文化を理解し、専門教育の実習を通して地域社会に貢献できる力を身につけている。
- DP2 柔軟で応用力のある創造的思考力を身につけている。
- DP3 地域社会において円滑に対応できるコミュニケーション力を活かしながら、現代社会の多様な課題を自らの力で発見し、それらを分析し解決する能力を身につけている。
- DP4 専門的知識を活用し、論理的に探究し、他者と協調し問題を解決していく主体的行動力を身につけている。

社会的・職業的自立 (高等教育機関目標)

司書・学芸員補(任用資格)・情報処理士・ビジネス実務士・社会福祉主事(任用資格)

DP1 地域の歴史・文化の理解

DP2 創造的思考力

DP3 現代社会の課題発見と分析力

DP4 専門知識の活用・主体的行動力

IV期	芸術鑑賞講座・教養講座 II 地域創成プロジェクト演習	家庭福祉論	介護概論	ヨーロッパ史演習 美術史演習 宗教文化史演習 地域歴史遺産論 地域社会と食生活 II 油彩画 III 木彫表現 ビジュアルデザイン II 映像メディア表現 II	卒業研究 (論文もしくは制作)	図書館情報技術論 図書館基礎特論 図書館情報資源特論	博物館経営論 博物館資料保存論	
		情報処理 III 情報倫理 情報メディア論 地域デザイン論 チーム発想法概論	日本史演習 考古学実習 地域社会と食生活 I 地域服飾文化論 油彩画 II 塑造表現 版画表現 ビジュアルデザイン I 映像メディア表現 I	情報資源組織演習		博物館実習	図書館制度・経営論 情報サービス論	博物館情報・メディア論 博物館展示論
		英語(リーディング&ライティング) 数理・データサイエンス基礎	女性文化史 デザイン論 情報処理 II 情報概論 服飾文化論 ビジネスマナー ビジネスホスピタリティ 経営学基礎	考古学 宗教文化史 デッサン II 絵本とイラストレーション CG基礎 II 写真基礎 木彫基礎		水彩表現	図書館サービス概論 情報資源組織論	博物館資料論 博物館教育論
		情報処理 I 総合英語コミュニケーション キャリアデザイン I キャリアデザイン II 生涯学習概論 家族社会学 生活芸術学入門 基礎学カトレーニング	ボランティア活動(集中)	日本文化史 ヨーロッパ文化史 美術史 社会福祉概論 デッサン I 塑造基礎 基礎デザイン CG基礎 I 版画基礎			児童サービス論 図書館情報資源概論	
III期	芸術鑑賞講座・教養講座 I 地域創成ゼミナール	宗教学						
II期		地域創成学科 生活基礎科目	地域創成学科 共通専門科目	地域創成学基礎	地域創成学探究	図書館学関係	博物館学関係	
I期		基礎科目	専門科目					
入学前教育								

※白囲み科目は、必修科目

専攻科 カリキュラム・マップ (教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマ・ポリシー(DP)学位授与方針

以下にかかげる知識や資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、本学が評価を行い、「大学評価・学位授与機構」が審査し、学士(文学)の学位を授与する。

DP1 専門的科目において、専門的知識を修得している。

DP2 専門的科目において、研究能力が身についている。

DP3 研究課題を適切な歴史学のテーマに設定する知識が身についている。

DP4 研究課題の成果である論文を論理的、創造的にまとめる力が身についている。

DP5 歴史学を専攻する学士(文学)の学位を取得することで、社会教育の充実発展に寄与できる能力が身についている。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

学士(文学)

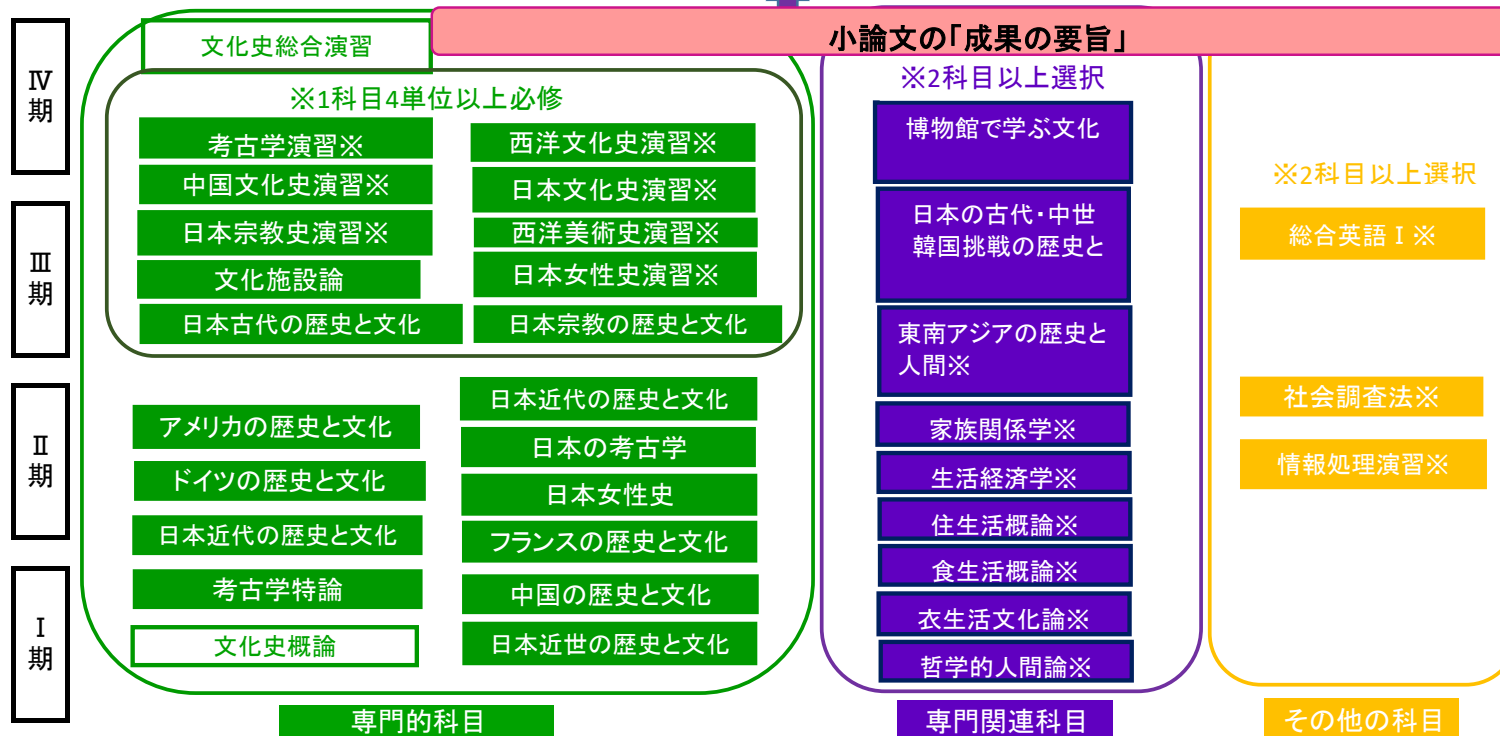
DP1 専門的知識

DP2 研究能力

DP3 課題探求能力

DP4 論理的・創造的

DP5 社会的責任



 は必修科目

専攻科 幼児教育学専攻 カリキュラムマップ(教育課程・学位授与方針の可視化)

学位授与方針(ディプロマポリシー)

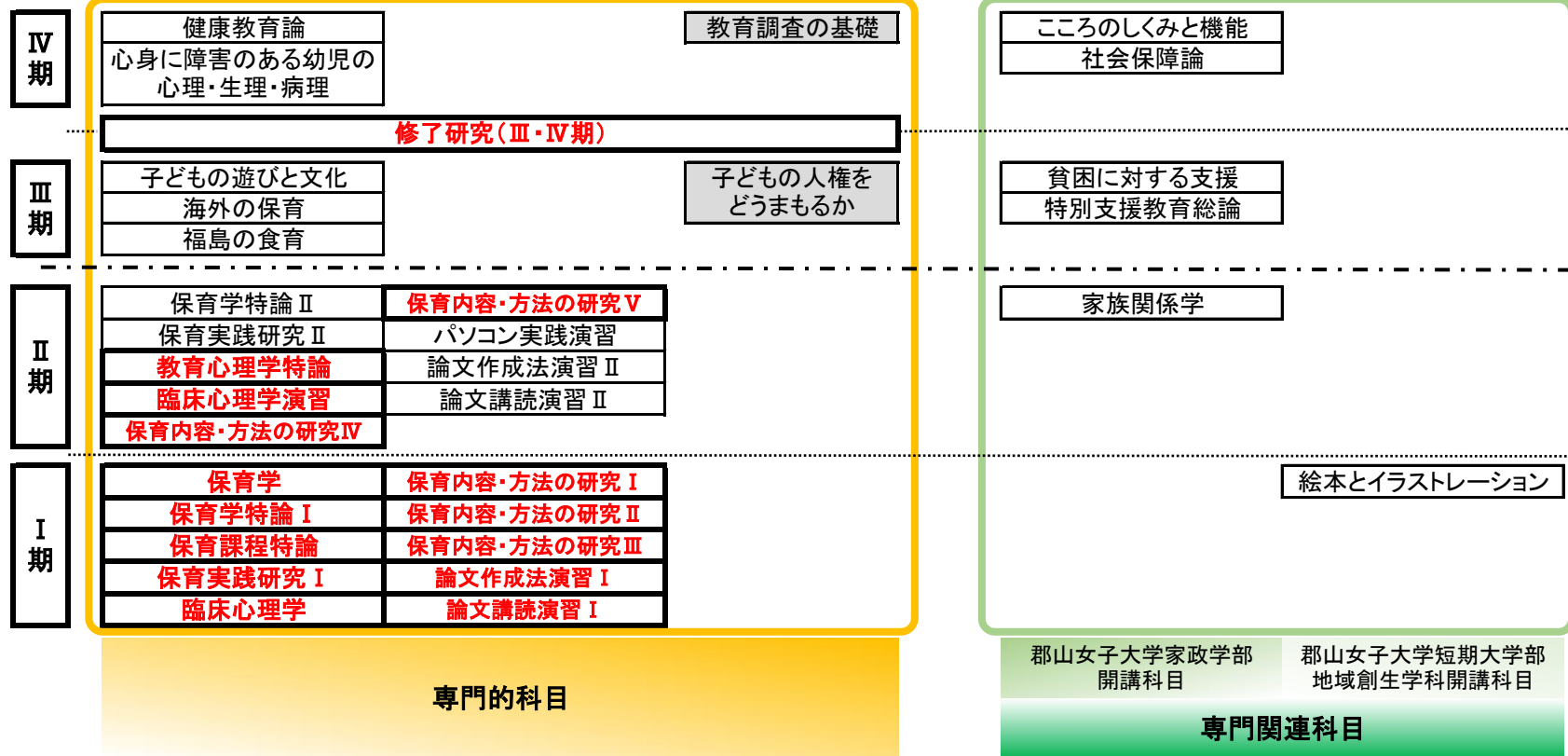
専攻科幼児教育学専攻の所定の単位を修得し、学位授与機構の最終試験に合格し、以下の知識・能力を身につけ、GPA2.0以上の学生に対して修了を認定し、学士(教育学)の学位を授与します。

1. 専門的学識：社会や保護者のニーズに対応でき、幼児教育・保育に関する高度な専門知識を修得している。
2. 問題発見・解決力：多様化・高度化する幼児教育・保育の課題を自ら見つけ出し、調査・考察などに基づいて、問題を解決する能力を身につけている。
3. 社会貢献力：保育者としての責任ある行動をすることにより、他者と協働して幼児教育・保育の発展に積極的に貢献しようとする意欲・態度を身につけている。
4. キャリア形成力：保育者として教養ある幅広い知識を持ち、生涯にわたって幼児教育・保育への関心・情熱と学習意欲を持続することができる。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

学士(教育学)

DP1 専門的学識 / DP2 問題発見・解決力 / DP3 社会貢献力 / DP4 キャリア形成力



※枠の意味:

修了必修科目

選択科目

放送大学開講科目